

日光白根山山行報告

【山行日】2019年12月15(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM4:30

【費 用】2,600円

【メンバー】CL:鈴木 SL松館
齊藤、鶴見、吉田

【コースタイム】栃木市運動公園P4:30=菅沼
P6:40/7:00→弥陀ヶ池 8:50/9:10→白根山頂
11:00/11:20→弥陀ヶ池 12:15/12:45→菅沼P
14:00/14:10→おおり 14:30/15:15=栃木市運動公園P16:30



毎年恒例の日光白根山新雪トレーニング山行を、今年も計画した。4日前に大小山に登り、男体山や白根山から雪が消え、今年は暖冬で雪が少ないと感じた。案の定イロハ坂は全く雪が無く、中禅寺湖畔の道路も雪が見当たらない。赤沼のトイレによってトイレを済ませ、戦場ヶ



原を走るが雪は全く無かった。金精道路も金精トンネル手前までは道路に雪は無く、トンネルを抜けると雪が出てきたが例年ほどは無い。菅沼の駐車場も使用でき、すでに10台位車が止まっていた。登山靴を履いて出発の準備をしていると、宇都宮HCのパーティーが先行して出発して行った。我々も準備が整ったら出発する。雪は昨日から今朝にかけて降った雪が10cm位あるが、いつもよりは雪が少なく歩き易い。登山道入り口の看板前で出発前の写真を撮

り、登山道を進むと宇都宮HCのパーティーがアイゼンを付けていた。挨拶して我々が先行して山道に入って行く。弥陀ヶ池まではアイゼンを付けずに登り、雪道の歩き方を実践する。今回は初めてのメンバーが3名参加したので、逆ハの字形で静荷重静移動の徹底と、急な斜面はキックステップで登るよう指導する。

皆さん雪道の歩きは問題なく、淡々と登り高度を上げて行く。45分程登るといつもの休憩ポイントに着き、衣服調整し水分を補給する。ここからも樹林帯の登りが続くが、昨日降った雪がシラビソの枝に積もりとても綺麗だった。しばらく同じような樹林帯の登りが続き、弥陀ヶ池まで0.9kmの道標の所で休憩する。風が強い予報だったが、ここまでは風の影響は全く受けず順調に登れた。ここからは座禅山の東面を巻くように登り、平坦な道から少し下ると弥陀ヶ池に着く。



真白い弥陀ヶ池の向こうに、ドーンと雪を纏った白根山が現れ、初めての景色に感動して見入っていた。池畔の平らな場所に降りてアイゼンを付け、松ちゃんからのどら焼きを食べエネルギーを補給する。木道を歩いて弥陀ヶ池の南端まで行き、ここから右に登り座禅山との鞍部に出る。いよいよ急登が始まり、アイゼンを効かせて一步一步着実に登って行く。少し登ると西からの強風に晒され、立ち止まって顔の防寒対策を万全にする。ここからしばらくは強風で雪が飛ばされ、岩礫や岩が露出してアイゼンではとても歩きにくい。雪が少しでもある所を歩いて行くが、これほど雪が少ないのは初めてのことで、地球温暖化の影響を感じた。ルンゼ状



の急登を進み、右に急な岩場を登るが雪が少なく、大きな岩を越えるのに難儀する。ようやく尾根に出てさらに岩場の急登を行き、一旦下って登り返し大きな岩の間をぬって登ると白根山山頂に出る。山頂には二等三角点が置かれ、360度の大展望が得られる。日光連山はもとより、会津駒ヶ岳や燧ヶ岳、至仏山、上州武尊山、皇海山等、名だたる名山が見渡せる。

皆さん大感動で写真を撮りまくり、「この景色を見たらハマっちゃいますね～」と満足そう。我々の前に着いた2人組の写真を撮ってから、我々も山頂写真を撮ってもらう。山頂は風が穏やかになり、しばらく景色を楽しんでから下山する。下山は往路を戻すが、次々に登って来るので待たされる。急な岩場は雪が少なく下りにくく、ゆっくり時間をかけて慎重に下る。弥陀ヶ池まで下れば安心出来、朝アイゼンを付けた場所で昼食をいただく。テルモスのお湯でスープやワンタンを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。



カステラやブッセもいただき、お腹がいっぱいになったら下山する。ここからの下りも順調に下り、予定よりも少し遅れて登山口駐車場に到着。アイゼンを外し、靴を履き替えたなら温泉に向かう。湯元の「おおり山荘」で温泉に浸かり、体を温め足の疲れを癒し帰路につく。皆さん初めて雪の白根山に登頂し、山頂からの雄大な眺めと登れた達成感で良い顔をしていた。車の中で次の雪山に向けて会話が弾み、アツと言う間に栃木市運動公園に帰着した。